

環境エンリッチメント

動物園は、野生に比べて使用できるスペースが狭く、単調で刺激のない生活になりがちです。当園では、動物たちが心身ともによりよく生活できるように環境を豊かにする（＝エンリッチメント）ための工夫を行っています。例えば、展示場の中に遊具を入れたり、ごはんのあげ方や置き場所を工夫することで、動物たちの運動量の増加や退屈な時間の軽減が期待できます。

－ ライオンの肉探しタイム －

展示場内のあちこちにごはんを隠すことで、探す→見つける→食べるという食べるための一連の行動を時間をかけてできるようにしています。ライオンがごはんを探してジャンプをする姿は必見。※土日祝限定のイベントです。



大牟田市動物園

1941年10月1日に開園。動物たちの生活の質の向上を目的とした、様々な取り組みを実施すると共に、動物福祉について理解を深めていただく努力を重ねています。



動物福祉を伝える動物園



－ キリンの採血 －

飼育員と動物が互いに協力し、心身に負担のかかる麻酔は使わずに定期的に採血を行うことで、健康状態の把握、異常の早期発見に努めています。

ハズバンドアリー トレーニング

動物の心身の健康管理に必要な行動を動物たちに協力してもらいながら行うトレーニングのことです。トレーニングを用いることにより、これまで麻酔無しではできなかったことが、より安全に定期的に行うことができます。当園では、ライオン・トラ・ツキノワグマ・キリンなどをはじめとする多くの動物の採血、体重測定などを定期的に行い、健康状態の把握、病気の予防に努めています。



大牟田市動物園

所 大牟田市昭和町163

時 9:30～17:00
(12～2月は9:30～16:30)
※入園は閉園1時間前まで

休 毎月第2・4月曜(祝日の場合は翌平日)
12/29～1/1

料 小人100円(小・中学生)※未就学児無料
大人500円(小人以外の15歳以上)
※土日祝日は高校生は小人料金となります。

問 0944-56-4526

交 (西鉄バス)「延命公園・動物園前」下車
徒歩5分

大牟田市動物園ホームページ
(<https://omutacityzoo.org>)

